

湖山西人権教育だより

第26号

湖山西地区人権教育推進協議会
発行責任者 平家 裕一

人を大切にお互いに認め合う 社会・地域となるために



湖山西地区人権教育推進協議会
会長 平家 裕一

全ての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等であるとした世界人権宣言の理念は、人類普遍の原理であり、日本国憲法においても、法の下の平等及び基本的人権の保障が定められています。平成30年度は、べべのコンサートなどを始め各町内で小地域懇談会を実施することが出来ました。こうした取り組みに前向きに取り組んでいた各町に感謝申し上げます。

近年の話題を見ると、小さな子供の虐待やいじめなど心を痛める情報に接します。親という大義はあるにしても、子供を死に追いやる現状はとても許しがたいものがあります。また、SNSといった情報の発信機能により、瞬時に情報が拡散されてしまします。いい情報なら良しとしても、誹謗中傷した内容は事実関係に基づかず、一方的なものもありさらに一回発信されると取り消すのに労力がかかります。取り消されたとしても再度情報が発信されるなど追いついていない現状が現かれています。

状でもあります。

発信側は、単純にいたすらのつもりで出したとしても、受ける側の方にはとても深刻な問題として影響を受けてしまっている場合があります。

この近年は、障がい者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法が施行されました。また鳥取市では人権施策基本方針が平成30年2月に改訂され、新たにインターネット上の悪質な書き込み等に対して実効性のある法の整備の要請や、自死にかかわる人権問題、学校での人権教育に関する記述を盛り込み人権尊重の精神を育む教育の推進に取り組みすることなどが追加されました。

こうした動きを含め、湖山西地区としても引き続き差別のない社会のために取り組んでいきます。ご協力をお願いいたします。

人権講演会

演題 「男女平等の意識を高めよう」

本年度の講演会は男女共同参画自主企画事業の助成を受けて、人権講演会（ミニコンサート）を行いました。当日は、会員や一般の方々80名が参加され盛大に開催されました。

本講演会の講師として、鳥取県出身女性歌手「Paix（ペ）」をお迎えし、18年間にわたり、主に矯正施設で情操教育の一環として「Prison」コンサートを開催されてきたお二人が、「男女を問わず平等で幸せになれる社会の実現を願い、あなたが生まれてきてよかった。愛するあなたに幸せであってほしい。」そんな暖かで真つ直ぐな気持ちを込めた美しいライブと巧みなトークに参加者一同心から引き込まれ共感していました。そして、だれもが平等に暮らしやすい社会を築くために、今私たちができる身近なことから一人ひとりが行動を起こすことの大切さを学びました。

鳥取県出身の女性歌手「べべ」の存在は知っていましたが、初めて美しい歌声とトークを聞きあつたかやさしい気持ちになりました。18年間矯正施設を廻り、コンサートでのお二人の活動で癒された方がたくさんおられるなど思いました。話の中では男性と女性それぞれ施設の中の雰囲気の違いがあり、特に男性の方は制限が厳しい様子が伺え、困難の中で活動したかったと思われました。社会の中では男女平等の声が聞かれる今、まだまだ変わらない部分もあるのかな・・・これからも、べべの活動で誰も平等に暮らしやすい社会になっていくことを願っています。

推進員 新 朝子

平成30年11月17日 湖山西地区公民館

講師 Paix（ペ）



平成30年11月17日「男女共同参画自主企画事業」の一環として行われた「男女平等の人権意識を高めよう」というテーマでべべの歌を聴きました。べべは2000年に結成し、全国の矯正施設等で平等で幸せな生活を願い18年間にわたり活動している鳥取県中部出身の女性デュオグループです。矯正支援官・保護司でもあるので、美しい歌の合間に人権に関する話があり、歌の間に朗読があり手話を入れた歌があり、あつという間のコンサートでした。コンサートの中に、人権も考える事の出来る貴重な時間でした。

推進員 石田 界三

会員・自治会全体研修会

平成30年6月9日 湖山西地区公民館

地区人権協議会、各町内会長、各町内会の人権推進協力員を対象に小地域懇談会開催に向けて事前研修会を行いました。当日は、「ゴール＆レスポンス」ハラスメントのDVDの視聴後、グループ討議を行いました。DVDの内容は職場におけるハラスメントの内容だったので参加者の中には退屈され「この内容は関係ないな」と言われた方もおりましたが、ハラスメントを防ぐにはコミュニケーションが大事です。地域の中でもコミュニケーションを取り合い相手の心を推し量り思いを聞いてみることも大事です。このDVDを見てみんなが話し合い地域の中でコミュニケーションが取りやすい環境づくりをするうえで役立てていただければと思います。



べべのお二人をお迎えして人権講演会（ミニコンサート）を行いました。べべのお二人の活躍は耳にしましたが生で聴くのは初めてでした。全国の施設を回っておられ、初めは施設で歌うことの大変さ、施設では限られた行動など縛りもあつた中で、施設で暮らす人の想い、家族の想いなども感じた事をお話ししていただきました。社会復帰を望む人へのエールを送る姿や人に寄り添い自分の事の様に考えていく姿勢が印象的でした。我々が生きていくうえで普段から誰も平等に暮らしにくいにはどうしたらいいのか何をすればいいのか？など考えながら生きていかなければいけないなと思えました。

事務局 安養寺 留広

平成30年度 湖山西地区人権教育推進協議会

人権啓発推進員

- 小林由香里 さん (R C K)
 - 新 朝子 さん (北四丁目)
 - 石田 界三 さん (あけぼの)
 - 井本 佳子 さん (学園前団地)
- ★ 一年間お疲れ様でした ★

★ 人権啓発推進員活動内容 ★

- 各町内会・自治会での講演会の進行
- 湖山西地区の各町内会・講演会の開催
- 湖西ブロック研修会への出席
- 鳥取市・県主催の研修会や研修会への参加
- 人権教育だより編集・発行

2017

小地域懇談会のようす

～町内会の取り組みについて～

○…参加者の感想

「地域が主役!!」

避難所の開設と運営のしかた



災害がどう厳しい状況下、少しでもより良い避難環境を確保し、助け合っ生活するための避難所の運営は大きな課題であり、地域が主役となる事が必要です。

○北四丁町内会 10/8
○普段から近所とのコミュニケーションが大事になってくる。
○避難所の開設についてなど知らないことが多かった。
○防災訓練などマニュアルを見ておく事も大事。
○避難訓練の大ききを感じました。

○東塚ヶ丘町内会 1/21
○小地域(町内会及町内会)で災害対応の懇談会を行い対策をする。
○要支援者の避難がむずかしい。
○共有する情報も、かつ何が必要かを見極めて運営もしっかりとしないといけないなと思いました。

「老いを生きる」

「老いを生きる」



誰もが通らなければならぬ老いの問題を自分ごとと捉え、日常生活の中で高齢者に対する思いやりの心が態度や行動に表われるような人権感覚を身につける作品です。

○あけぼの町内会 10/21
○自主避難所の在り方を知らない事の多きに自分自身にびっくりでした。
○それぞれの人権を尊重し合いながら行動する事の大切さ、隣近所の付き合いの大事さが分かった。
○自主避難の大切さ。
○家族での話し合い。

○かがやき町内会 12/16
○災害が起こった時家族との連絡方法についてきかなくなっていたことを思い出す事が出来たので家に帰ったら話をしておきたい。
○みんなが分からないこと、不安に感じることが分かった。
○災害について意識づけになった。

市住1区・3棟 湖山団地4・5・6・7棟町内会 10/14

○一人暮らしの高齢者が多い地区なので日頃から声がけが重要だと思いました。
○近所のお年寄りであった時には声をかける、顔み知りになる事が大切だと思う。
○若い人も参加してほしい。

○公園北町内会 3/16
○今の社会を考えると大切な内容だと感じた。きれいなことと終わらないのが現実だ。
○一人で抱え込まない。
○地域のつながりを考えさせられる内容だった。
○参考になった。

○桃香の自由帳
○このドコマは劇的な事件は描かず、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。日常の何気ない行動を振り返ることで現代の私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけています。

○新田町内会 1/6
○自分の回まっていた考え方を再認識させられ改めて仲を作らないで相手を理解するような大切な事が分かった。
○時間がなく意見をまとめきれませんでした。
○人前で話すのが苦手グループ討論の方が他の方の意見も聞けるし話しやすい。

「夢のつばき」

「夢のつばき」



家族の中で疎外感を抱く高齢者をテーマにしたお話です。認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な毎日を送る若者が、世代の異なる者とのふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで絆を深め生きがいを感じる生活を送る事が出来る様になっていく様子を描いています。

○堀越・砂浜町内会 10/20
○自分で自分の健康に気をつける。
○自分と同じ思いをしている人がたくさんいるなと感じました。
○色々聞いて良かった。
○最初は面倒だなと思っていただけ、参加したあと出席して良かったと思っった。

○鳥大南団地町内会 2/24
○知らないことは(介護の事でも)周りに相談する事が大事なんだと思いました。
○DVDの内容はちやうど、経験していることもありとても参考になりました。
○情報を知る事が大切だと思います。

「コール&レスポンス」

「コール&レスポンス」



ハラメントを防ぐことは人権尊重の上で重要な問題です。相手の心を知ることができません。ハラメントを防ぐには十分なコミュニケーションをとると同時に相手の心を十分に押し取り、思いを聞いてみる事が大事です。

○あした咲く〜女性の権利
○「女性が輝く社会」の実現に向けて平成27年8月の「女性活躍推進法」成立をはじめこれまで様々な取り組みが進められてきました。幸せの形は十人十色です。多様な尊重社会、その実現を目指すべきこととなる事を自覚しています。

○砂丘・学園別荘町内会 11/4
○男性、女性の立場は同等でなければならぬと思う。
○それぞれの立場に立って考えていくことが大切。
○今日の懇談会で意見交換が出来たことはとても良かった。

「風の匂い」

「風の匂い」



平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法律では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。私たち一人一人が意識を変えて「バリア」をなくしていかなければなりません。

○差別解消法三法と鳥取市人権施策基本方針について
○差別解消法三法とは
・障がい者差別解消法
・部落差別の解消の推進法
・ヘイトスピーチ解消法のための推進法
○鳥取市人権施策基本方針について
○今後の課題など市人権推進員小山さんが提唱。

○大学前町内会 11/4
○研修会後も、家庭や友達など身近な人とDVDの内容を話し合っ、知識、理解にとどめることなく、一人一人が人権感覚を十分に身につけていく必要性を感じました。

「白鳥町内会 11/11」

○むやみやたらに思った事を話す事はよく考えなければいけないと思う。
○ハラメントでセクハラによる差別的な言葉で相手を傷つけることにならない。
○人それぞれの考え方があって相手は自分の意見を押し付けてはいけません。

「大寺屋町内会 5/20」

○目に見えない身体障がいを持ってある方への対応を内容とする学習を実施してほしい。
○心のバリアを解くこと。
○挨拶をしたりされたら気持ちのいい生活をする事の大切さ。
○見た目で差別しない。

「湖北町内会 2/10」

○同和問題を土台とした人権差別を一人一人が学んでいけたらと思います。
○体験でのお話もさる感謝が伝わりました。
○法律等が施行された場合は小地域懇談会などで周知することも大切だと考えます。